

屋外広告物

修景基準

・掲出数は必要最小限とし、材質、大きさ・位置・色彩等については、周囲の伝統的町並み景観に調和したものとし、自家用以外の広告物は設けない。

修景基準細則

・将来にわたり、兵庫県が定めた「出石町城下町地区広告景観モデル地区基本方針」及び「出石町城下町地区広告景観形成基準」を遵守する。



参考-町家と広告物
屋外広告物は出石の町家の雰囲気に溶け合うようなデザインであったり、時間と共に熟成する素材が似合います。

修景基準

・塀、石垣などについて、規模・様式・材料・仕上げ・着色などは、周囲の伝統的建造物の特性に合わせる。



参考-家老屋敷の石垣と塀
城内であった内町や、城下の寺院、間口の広い町家では、塀や石垣をよく見かけます。

工作物 規模 意匠

細部伝統的意匠

修景基準細則

・その他、次の伝統的意匠を用いることができる。

- 出桁・腕木（うでぎ）・持送り（もちおく）り：軒の出幅が大きい場合には軒裏に出桁を設け、腕木又は持送りにて支持している
- さがりがけ：1階の軒裏に設ける幕板で、暖簾（のれん）や簾（すだれ）かけとして利用されるもの
- 卯建（うだつ）：防火用又は意匠性の高い袖壁で、塗込め（大壁）の2階外壁に設けられたもの
- 虫籠窓（むしこまど）：2階外壁に設けられ、格子は土で塗込められたもの
- 摺（す）り上げ戸：近世の代表的な柱間装置で、複数枚の板戸を柱に付けた溝にそって摺り上げ、上部を戸袋として収納するもの

参考-出石城下町に見る細部の伝統的意匠事例



腕木 凝ったデザインの腕木

持送り 隅部に設けられた持送り

さがりがけ 軒下のさがりがけ



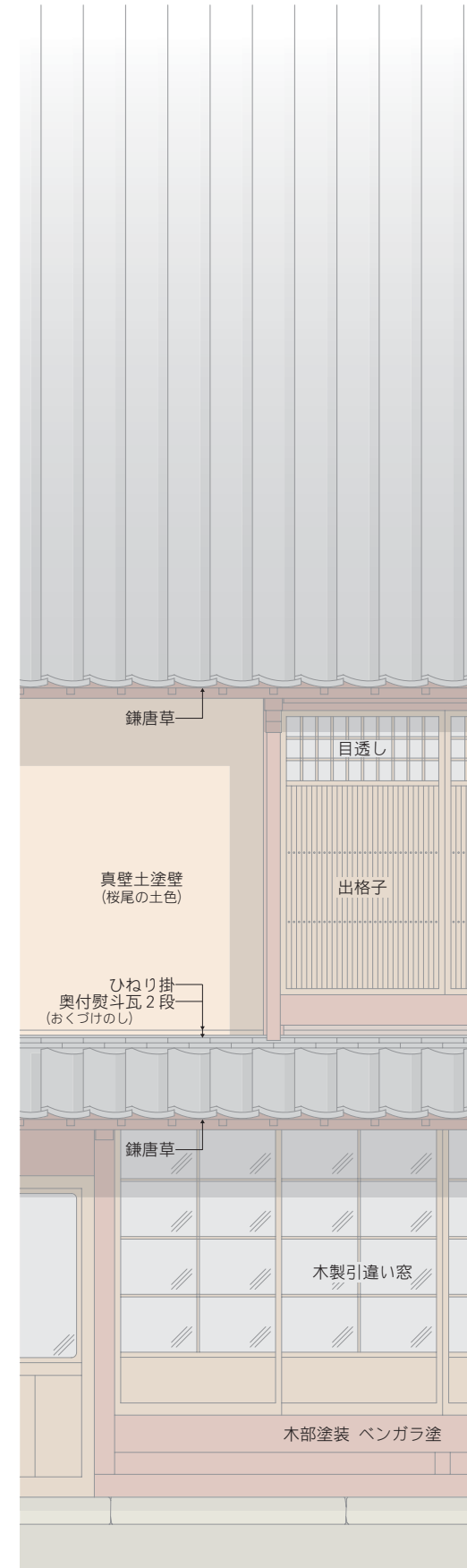
卯建 小屋根を持った重厚な卯建



虫籠窓 リズミカルならぶ虫籠窓



虫籠窓・出格子 出格子と対になる個性的な虫籠窓



参考-

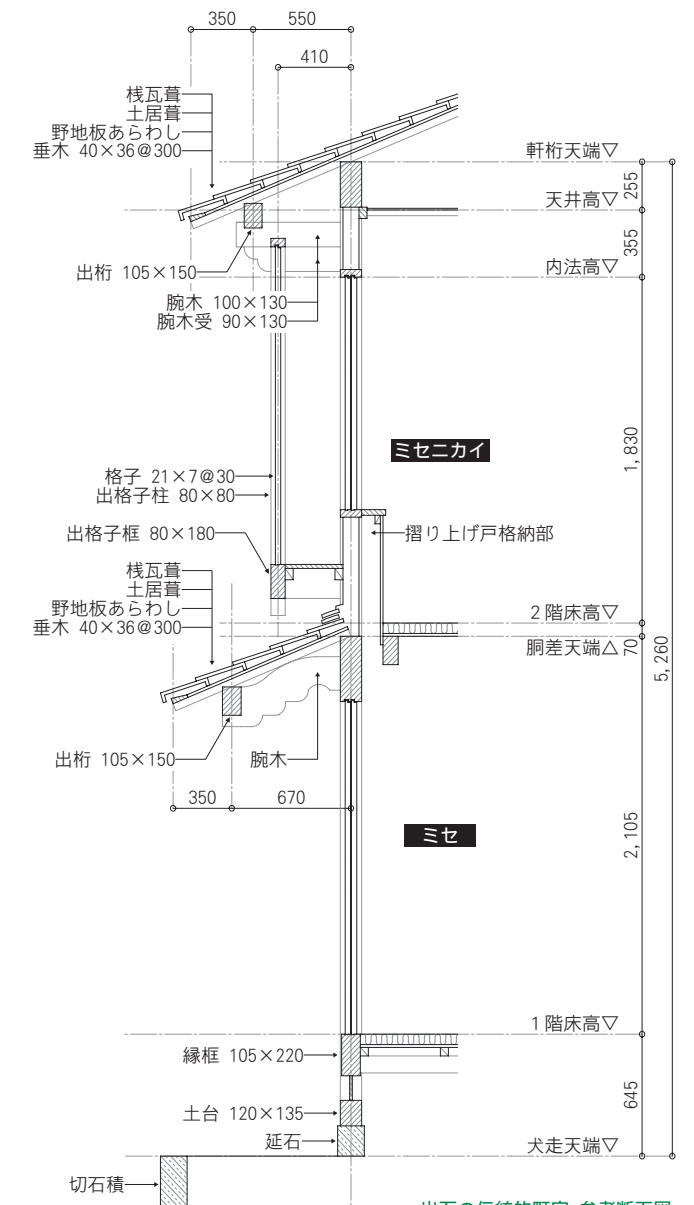
伝統的な町家の断面構成

町割に沿って揃った壁面と、切妻平入の屋根、ほぼ同じ高さの軒庇が、町並みの連続感を高めます。

軒高さは現代住宅と比較すると総体的に低めですが、詳しく見ると、昭和・大正・明治…と時代を遡るほど、その傾向は強くなります。（年代により正面外観のシルエットが異なります）

なお、標準的な間口の町家では、2階外壁は軽快な真壁造りとなります。

また、出格子や虫籠窓、軒下の腕木や持送り、さがりがけ、そして切石積など、いくつもの伝統的な意匠要素も見られます。



出石の伝統的町家 参考断面図
scale 1/40